

＜集計分析結果＞

(単純集計版)

在宅介護実態調査の集計結果

～第9期介護保険事業計画の策定に向けて～

令和5年11月

＜南砺市＞

目次

1 基本調査項目（A票）	[P. 1]
(1) 世帯類型	[P. 1]
(2) 家族等による介護の頻度	[P. 1]
(3) 主な介護者の本人との関係	[P. 2]
(4) 主な介護者の性別	[P. 2]
(5) 主な介護者の年齢	[P. 3]
(6) 主な介護者が行っている介護	[P. 4]
(7) 介護のための離職の有無	[P. 5]
(8) 保険外の支援・サービスの利用状況	[P. 6]
(9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス	[P. 7]
(10) 施設等検討の状況	[P. 7]
(11) 本人が抱えている傷病	[P. 8]
(12) 訪問診療の利用の有無	[P. 9]
(13) 介護保険サービスの利用の有無	[P. 9]
(14) 介護保険サービス未利用の理由	[P. 10]
2 主な介護者様用の調査項目（B票）	[P. 11]
(1) 主な介護者の勤務形態	[P. 11]
(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況	[P. 12]
(3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援	[P. 13]
(4) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識	[P. 14]
(5) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護	[P. 15]
3 要介護認定データ	[P. 16]
(1) 年齢	[P. 16]
(2) 性別	[P. 16]
(3) 二次判定結果（要介護度）	[P. 17]
(4) サービス利用の組み合わせ	[P. 17]
(5) 訪問系サービスの合計利用回数	[P. 18]
(6) 通所系サービスの合計利用回数	[P. 19]
(7) 短期系サービスの合計利用回数	[P. 20]
(8) 障害高齢者の日常生活自立度	[P. 20]
(9) 認知症高齢者の日常生活自立度	[P. 21]

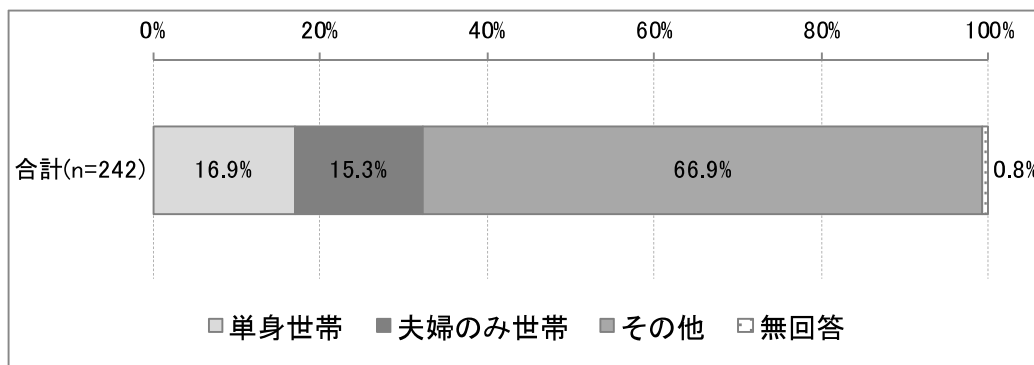
※図表タイトルの「★」は、オプション調査項目であることを示しています。

1 基本調査項目（A票）

(1) 世帯類型

「その他」の割合が最も高く66.9%となっている。次いで、「単身世帯（16.9%）」、「夫婦のみ世帯（15.3%）」となっている。

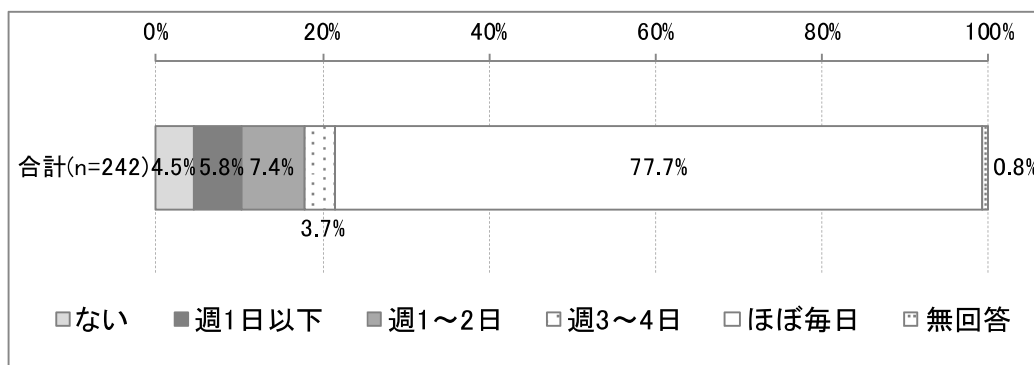
図表 1-1 世帯類型（単数回答）



(2) 家族等による介護の頻度

「ほぼ毎日」の割合が最も高く77.7%となっている。次いで、「週1～2日（7.4%）」、「週1日以下（5.8%）」となっている。

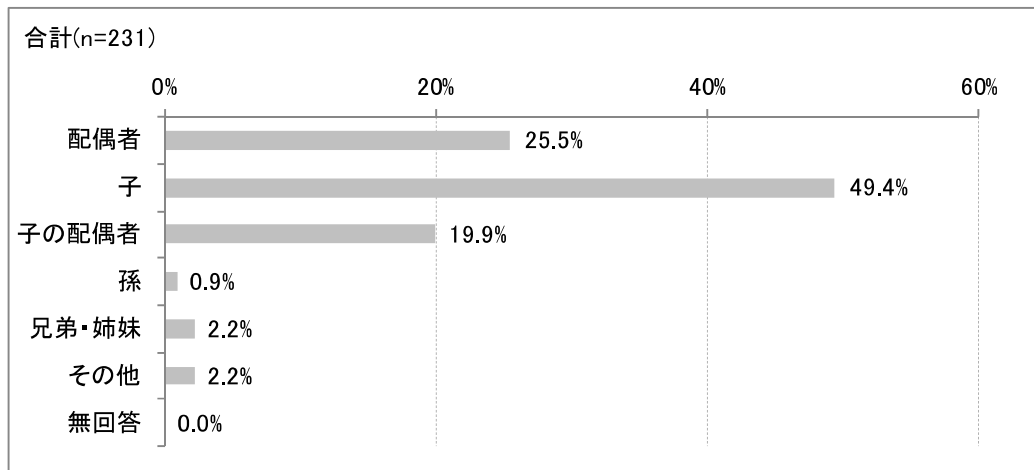
図表 1-2 家族等による介護の頻度（単数回答）



(3) 主な介護者の本人との関係

「子」の割合が最も高く 49.4%となっている。次いで、「配偶者 (25.5%)」、「子の配偶者 (19.9%)」となっている。

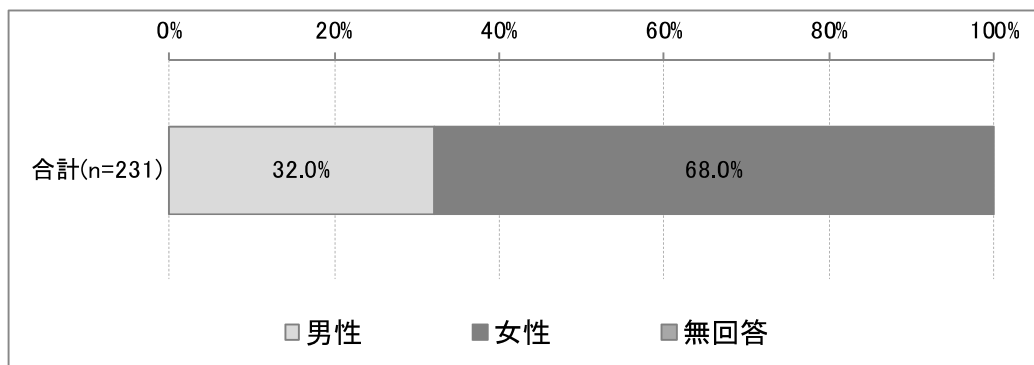
図表 1-3 ★主な介護者の本人との関係 (単数回答)



(4) 主な介護者の性別

「女性」の割合が最も高く 68.0%となっている。次いで、「男性 (32.0%)」となっている。

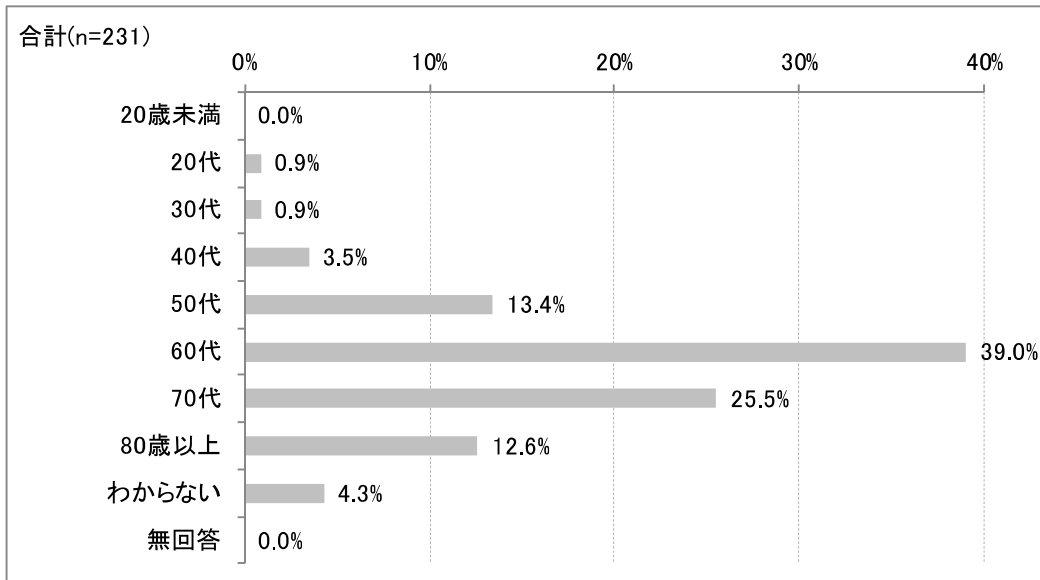
図表 1-4 ★主な介護者の性別 (単数回答)



(5) 主な介護者の年齢

「60代」の割合が最も高く39.0%となっている。次いで、「70代(25.5%)」、「50代(13.4%)」となっている。

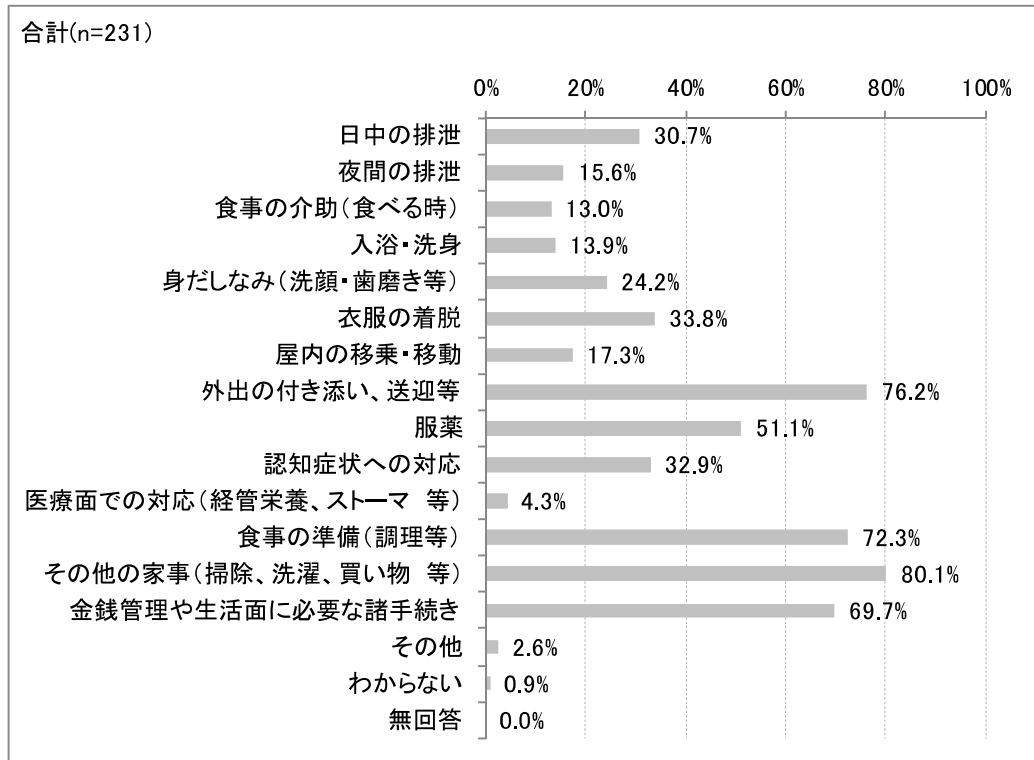
図表 1-5 主な介護者の年齢（単数回答）



(6) 主な介護者が行っている介護

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」の割合が最も高く 80.1%となっている。次いで、「外出の付き添い、送迎等（76.2%）」、「食事の準備（調理等）（72.3%）」となっている。

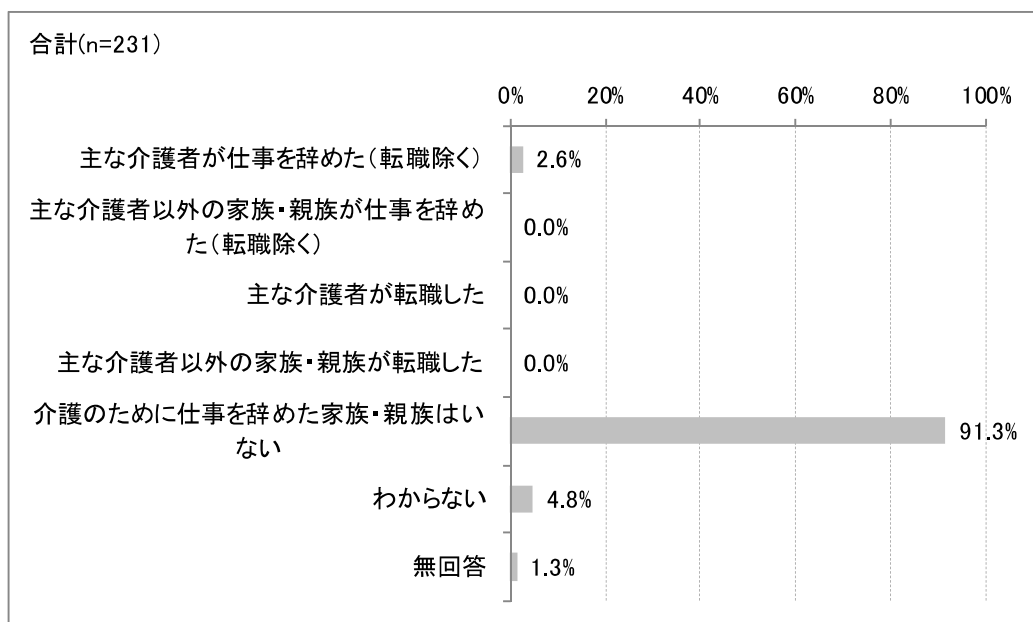
図表 1-6 ★主な介護者が行っている介護（複数回答）



(7) 介護のための離職の有無

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が最も高く 91.3%となっている。次いで、「わからない (4.8%)」、「主な介護者が仕事を辞めた (転職除く) (2.6%)」となっている。

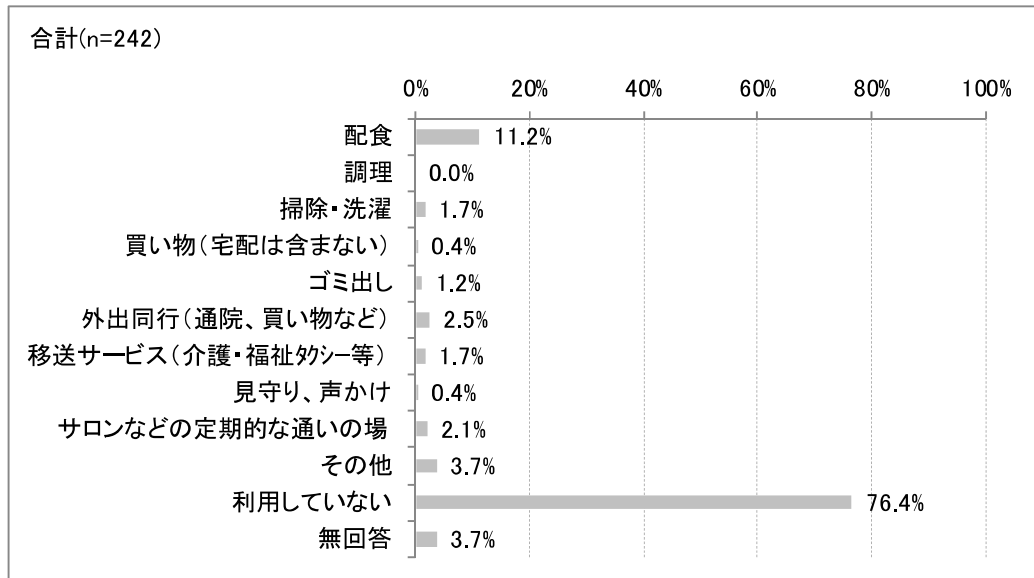
図表 1-7 介護のための離職の有無 (複数回答)



(8) 保険外の支援・サービスの利用状況

「利用していない」の割合が最も高く76.4%となっている。次いで、「配食（11.2%）」、「その他（3.7%）」となっている。

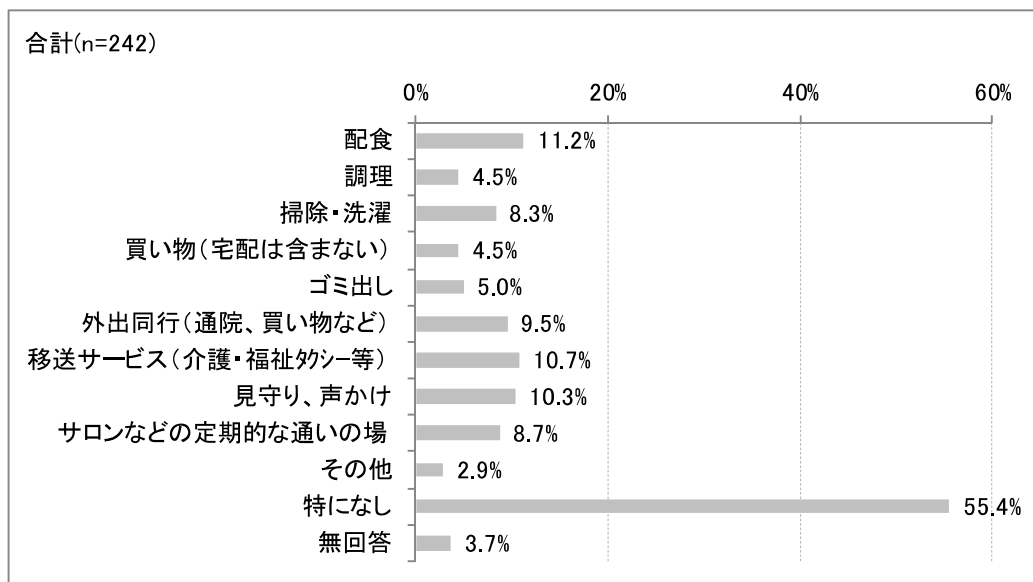
図表 1-8 ★保険外の支援・サービスの利用状況（複数回答）



(9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス

「特になし」の割合が最も高く 55.4%となっている。次いで、「配食（11.2%）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（10.7%）」となっている。

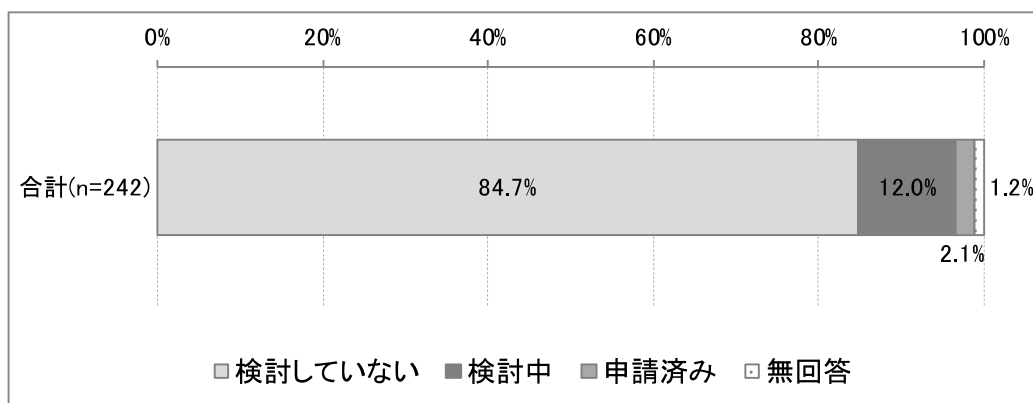
図表 1-9 ★在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス（複数回答）



(10) 施設等検討の状況

「検討していない」の割合が最も高く 84.7%となっている。次いで、「検討中（12.0%）」、「申請済み（2.1%）」となっている。

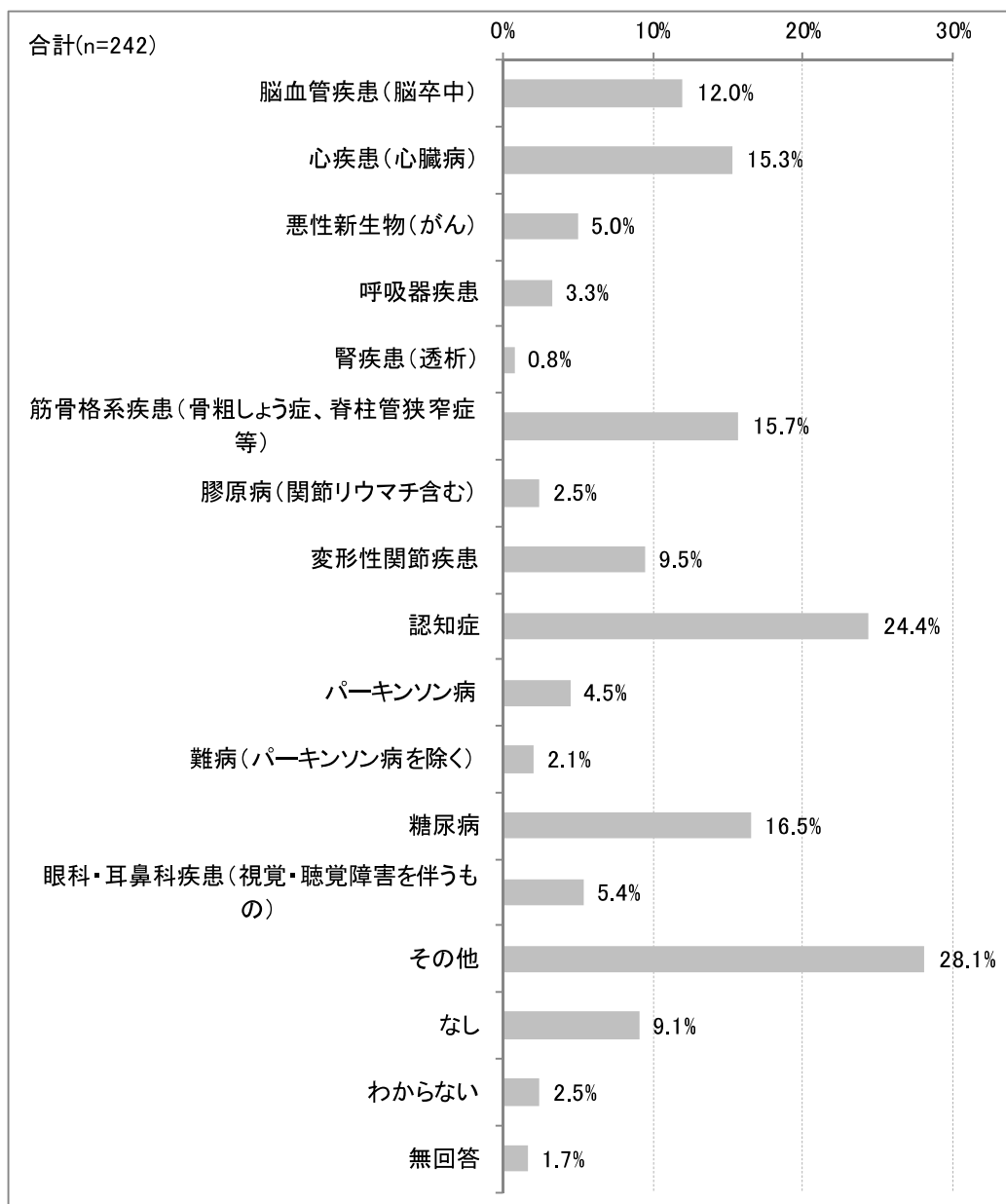
図表 1-10 施設等検討の状況（単数回答）



(11) 本人が抱えている傷病

「その他」の割合が最も高く 28.1%となっている。次いで、「認知症 (24.4%)」、「糖尿病 (16.5%)」となっている。

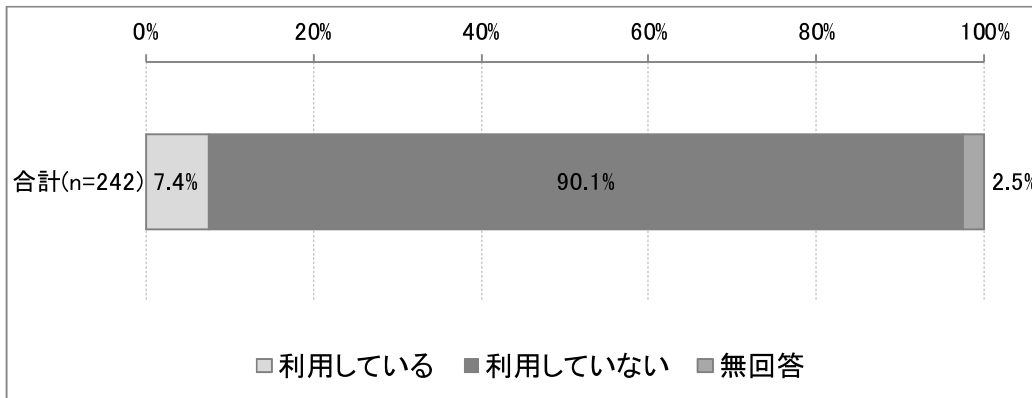
図表 1-11 ★本人が抱えている傷病 (複数回答)



(12) 訪問診療の利用の有無

「利用していない」の割合が最も高く 90.1%となっている。次いで、「利用している (7.4%)」となっている。

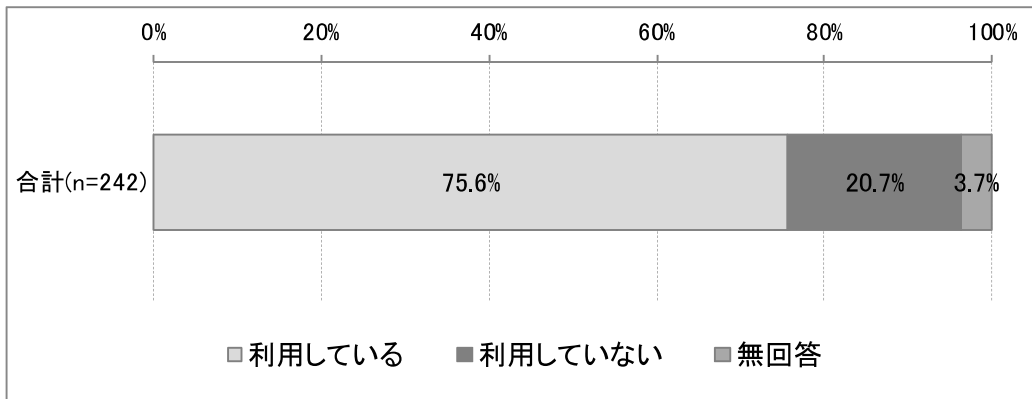
図表 1-12 ★訪問診療の利用の有無 (単数回答)



(13) 介護保険サービスの利用の有無

「利用している」の割合が最も高く 75.6%となっている。次いで、「利用していない (20.7%)」となっている。

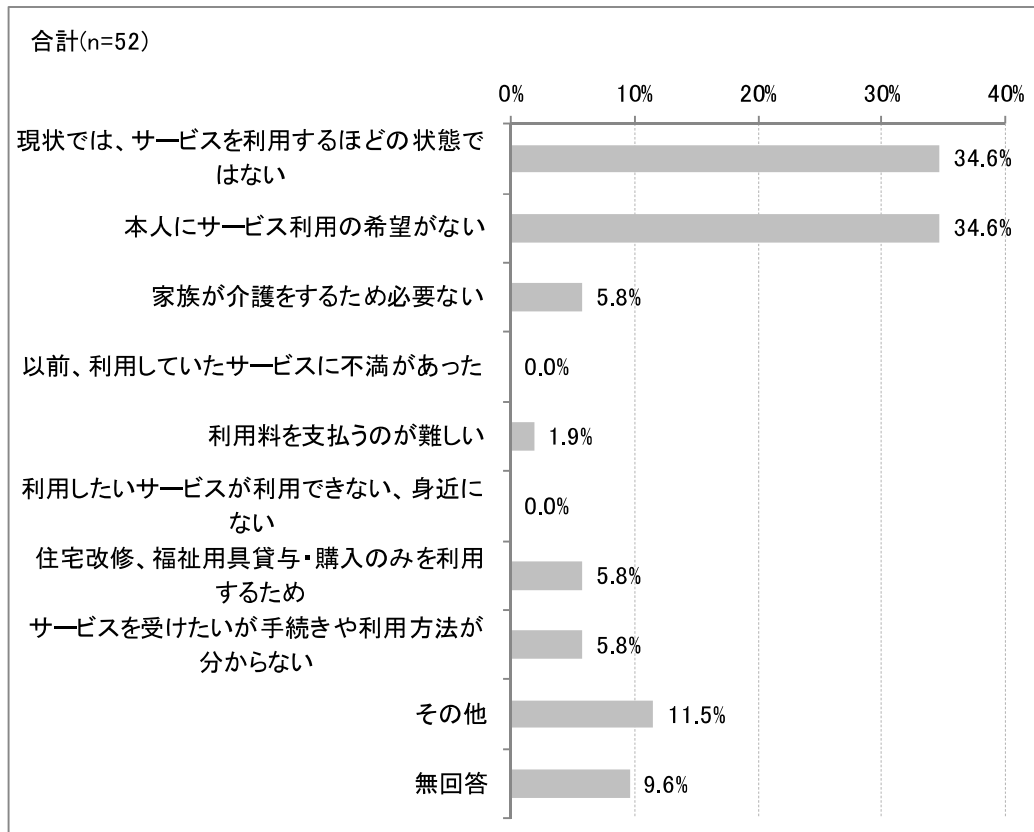
図表 1-13 ★介護保険サービスの利用の有無 (単数回答)



(14) 介護保険サービス未利用の理由

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」の割合が高く、それぞれ 34.6%となっている。次いで、「その他（11.5%）」、「家族が介護をするため必要ない（5.8%）」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため（5.8%）」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない（5.8%）」となっている。

図表 1-14 ★介護保険サービスの未利用の理由（複数回答）

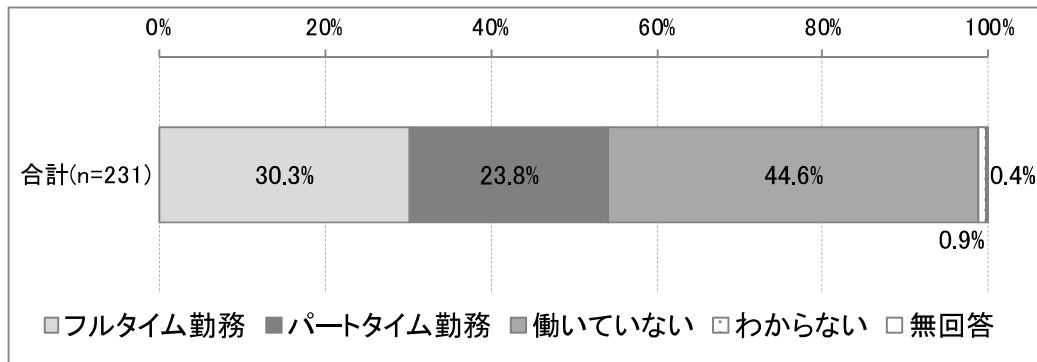


2 主な介護者様用の調査項目（B票）

(1) 主な介護者の勤務形態

「働いていない」の割合が最も高く 44.6%となっている。次いで、「フルタイム勤務 (30.3%)」、「パートタイム勤務 (23.8%)」となっている。

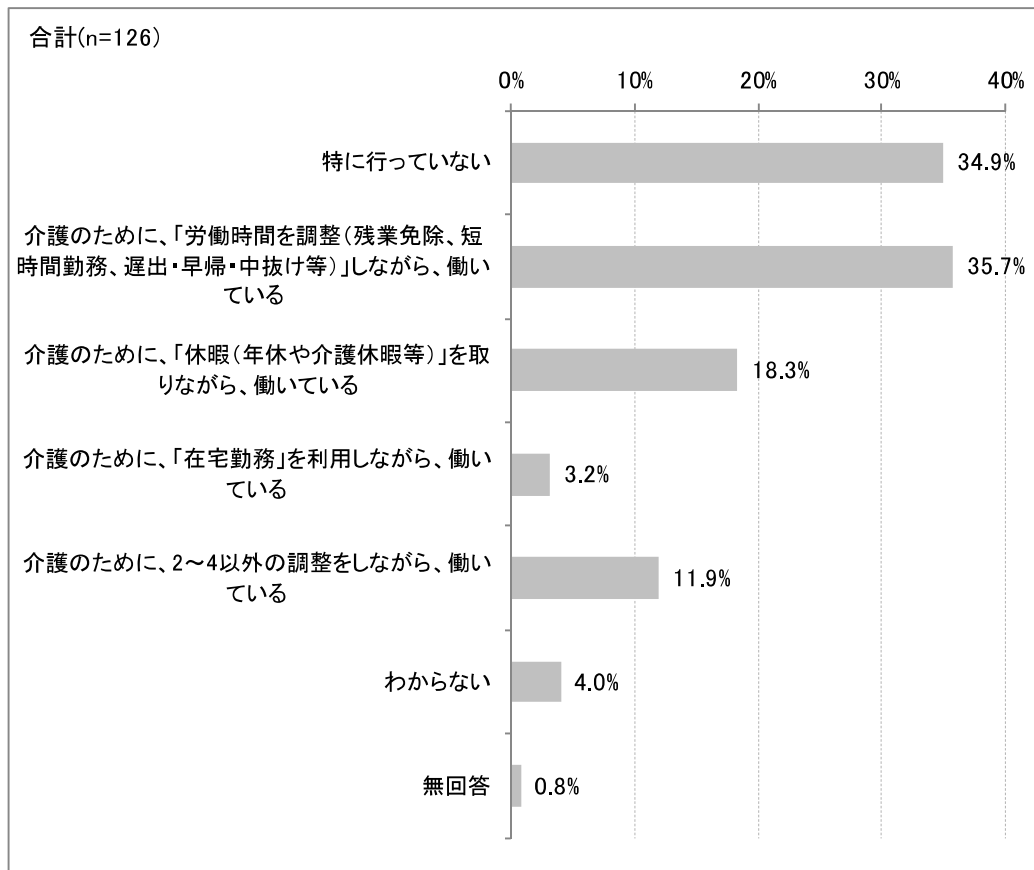
図表 2-1 主な介護者の勤務形態（単数回答）



(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況

「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が最も高く 35.7%となっている。次いで、「特に行っていない（34.9%）」、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている（18.3%）」となっている。

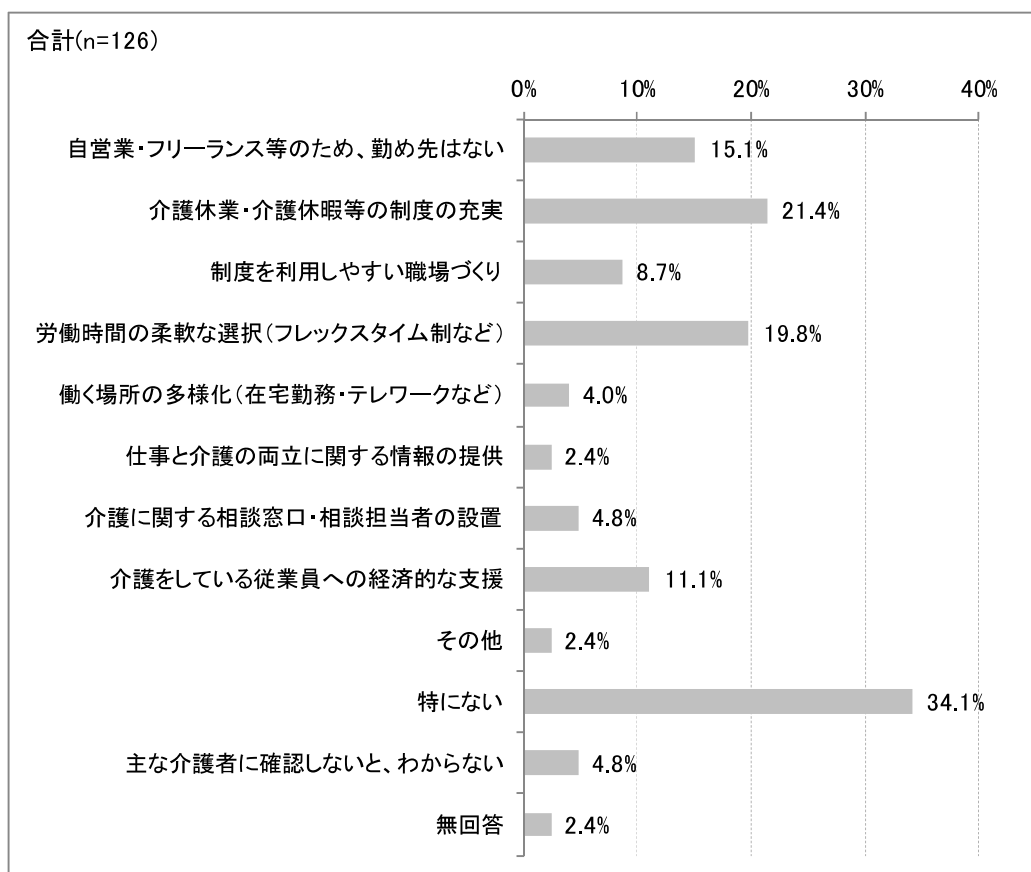
図表 2-2 主な介護者の働き方の調整状況（複数回答）



(3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援

「特にない」の割合が最も高く 34.1%となっている。次いで、「介護休業・介護休暇等の制度の充実 (21.4%)」、「労働時間の柔軟な選択 (フレックスタイム制など) (19.8%)」となっている。

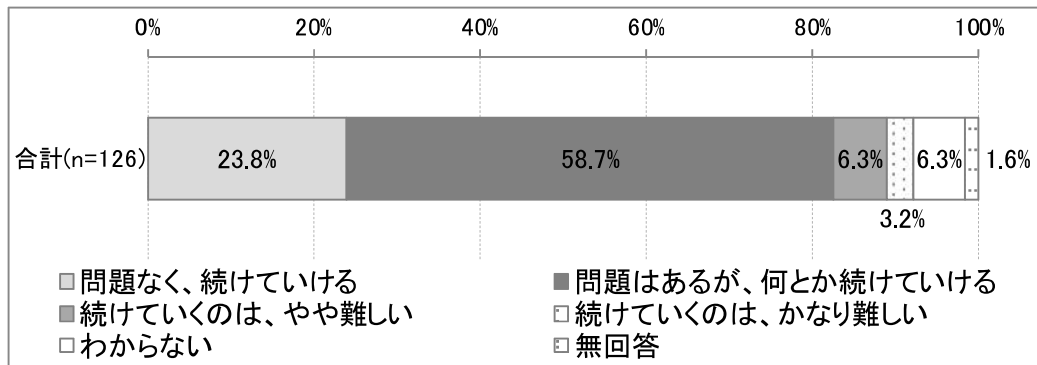
図表 2-3 ★就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援 (複数回答)



(4) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高く 58.7%となっている。次いで、「問題なく、続けていける (23.8%)」、「続けていくのは、やや難しい (6.3%)」、「わからない (6.3%)」となっている。

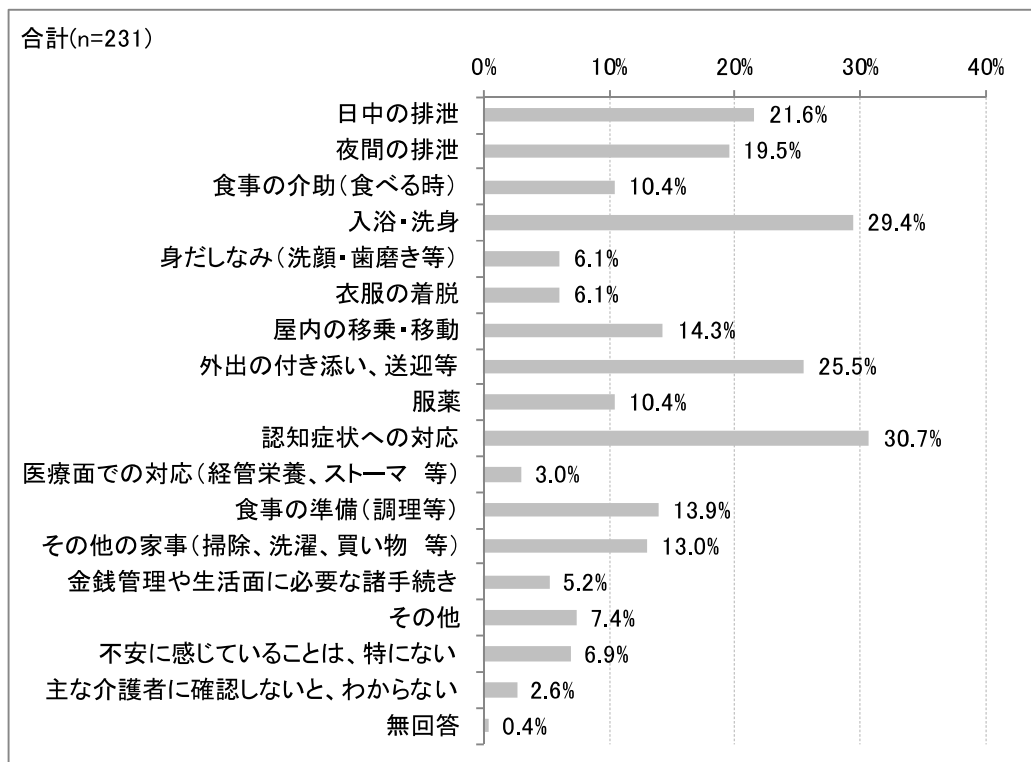
図表 2-4 主な介護者の就労継続の可否に係る意識（単数回答）



(5) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

「認知症状への対応」の割合が最も高く 30.7%となっている。次いで、「入浴・洗身 (29.4%)」、「外出の付き添い、送迎等 (25.5%)」となっている。

図表 2-5 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護（複数回答）

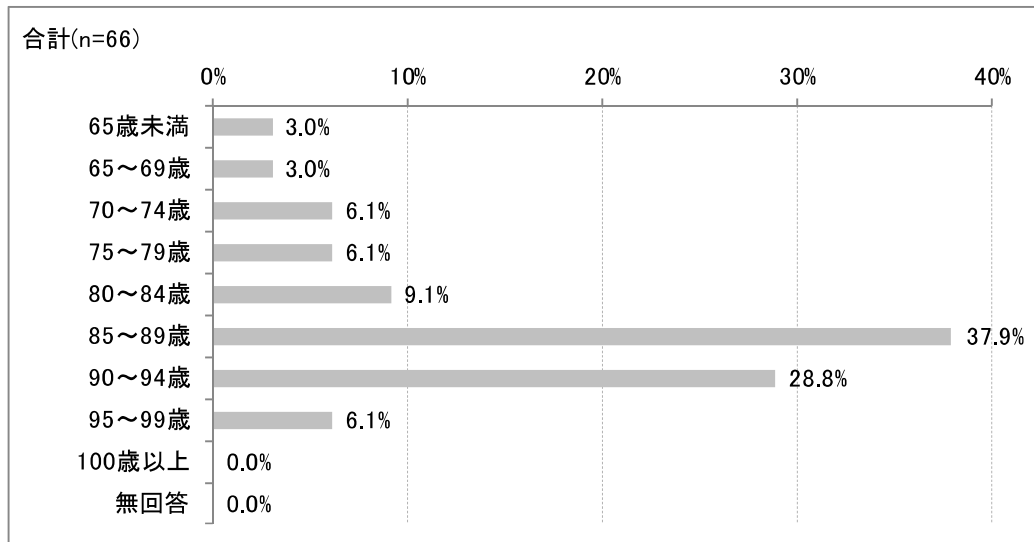


3 要介護認定データ

(1) 年齢

「85～89歳」の割合が最も高く37.9%となっている。次いで、「90～94歳（28.8%）」、「80～84歳（9.1%）」となっている。

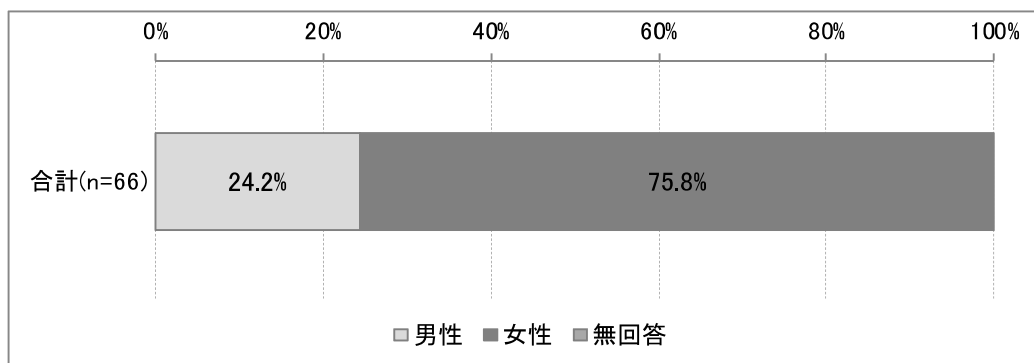
図表 3-1 年齢



(2) 性別

「女性」の割合が最も高く75.8%となっている。次いで、「男性（24.2%）」となっている。

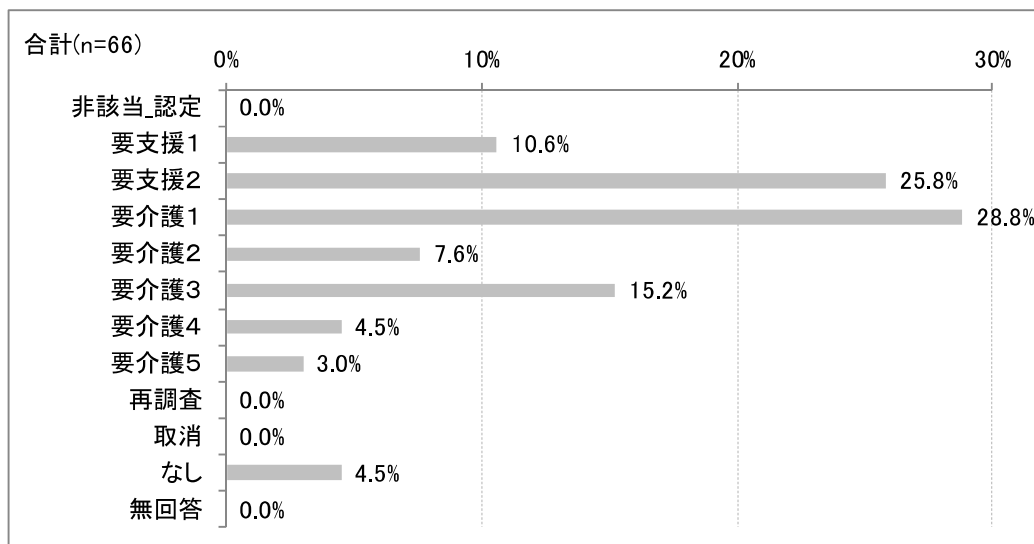
図表 3-2 性別



(3) 二次判定結果（要介護度）

「要介護1」の割合が最も高く28.8%となっている。次いで、「要支援2（25.8%）」、「要介護3（15.2%）」となっている。

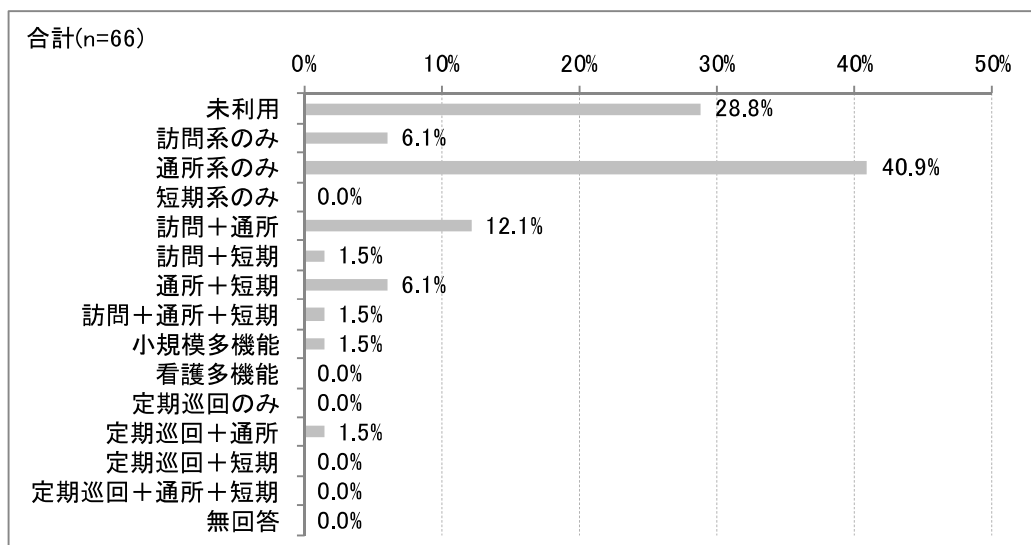
図表 3-3 二次判定結果



(4) サービス利用の組み合わせ

「通所系のみ」の割合が最も高く40.9%となっている。次いで、「未利用（28.8%）」、「訪問+通所（12.1%）」となっている。

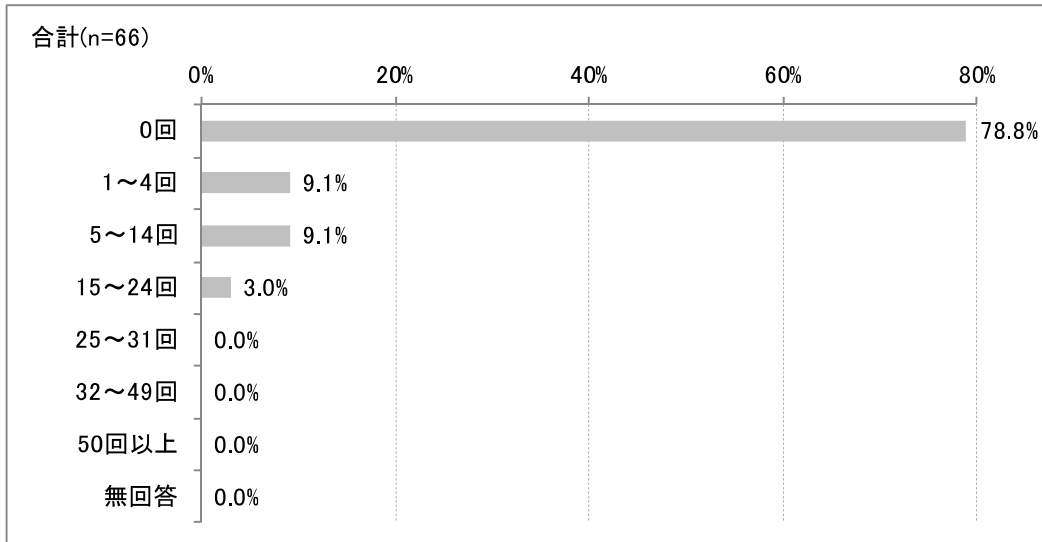
図表 3-4 サービス利用の組み合わせ



(5) 訪問系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く78.8%となっている。次いで、「1～4回（9.1%）」、「5～14回（9.1%）」、「15～24回（3.0%）」となっている。

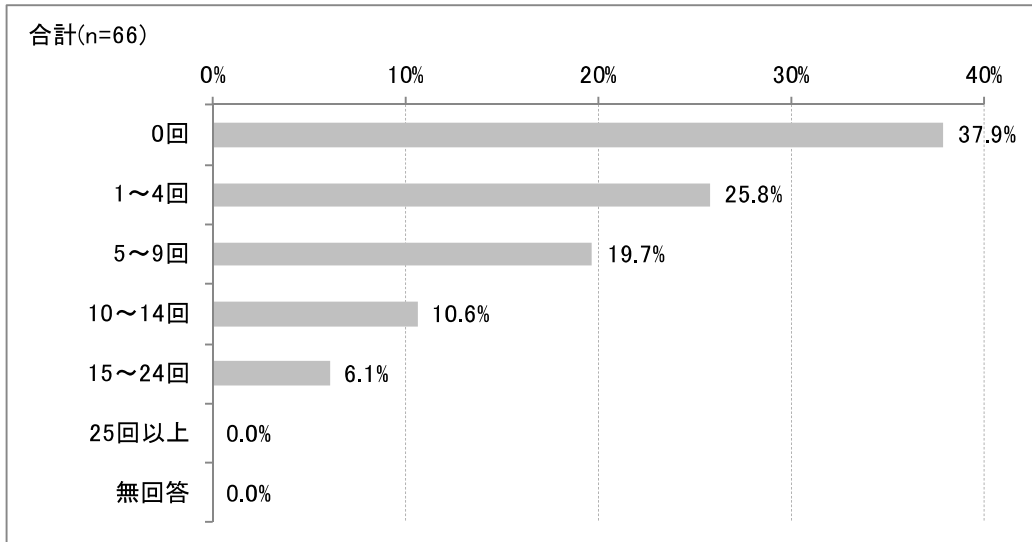
図表 3-5 サービスの利用回数（訪問系）



(6) 通所系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く 37.9%となっている。次いで、「1～4回 (25.8%)」、「5～9回 (19.7%)」となっている。

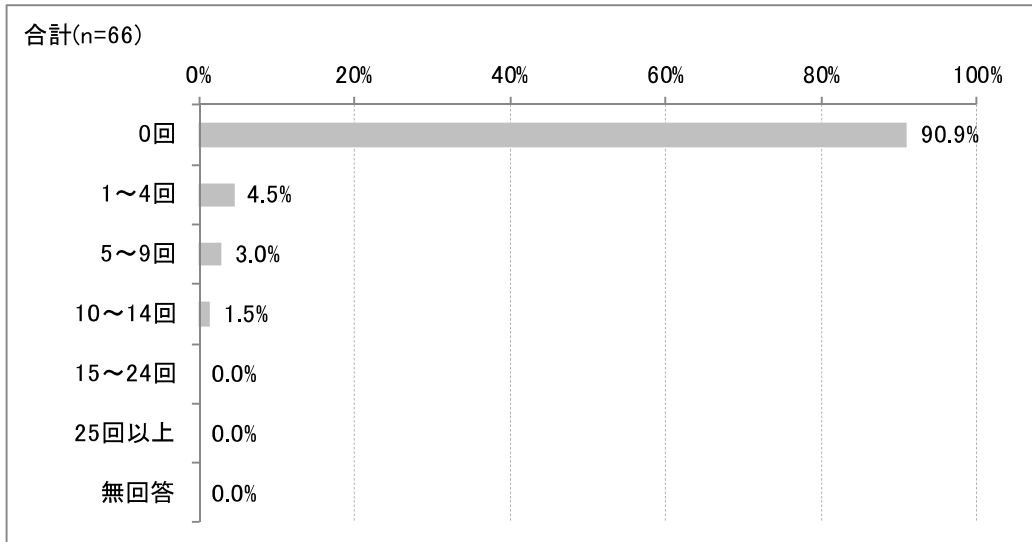
図表 3-6 サービスの利用回数 (通所系)



(7) 短期系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く 90.9%となっている。次いで、「1～4回 (4.5%)」、「5～9回 (3.0%)」となっている。

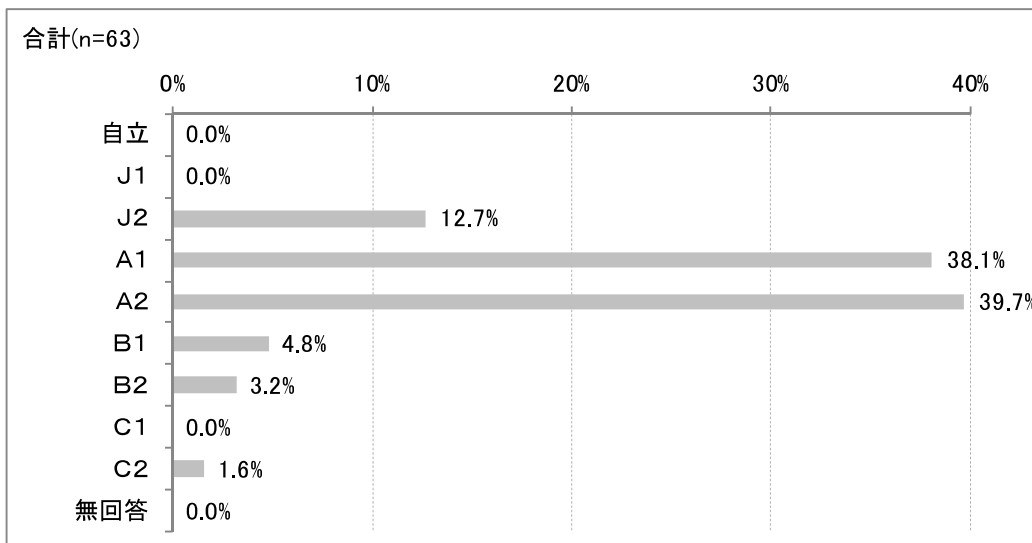
図表 3-7 サービスの利用回数 (短期系)



(8) 障害高齢者の日常生活自立度

「A2」の割合が最も高く 39.7%となっている。次いで、「A1 (38.1%)」、「J2 (12.7%)」となっている。

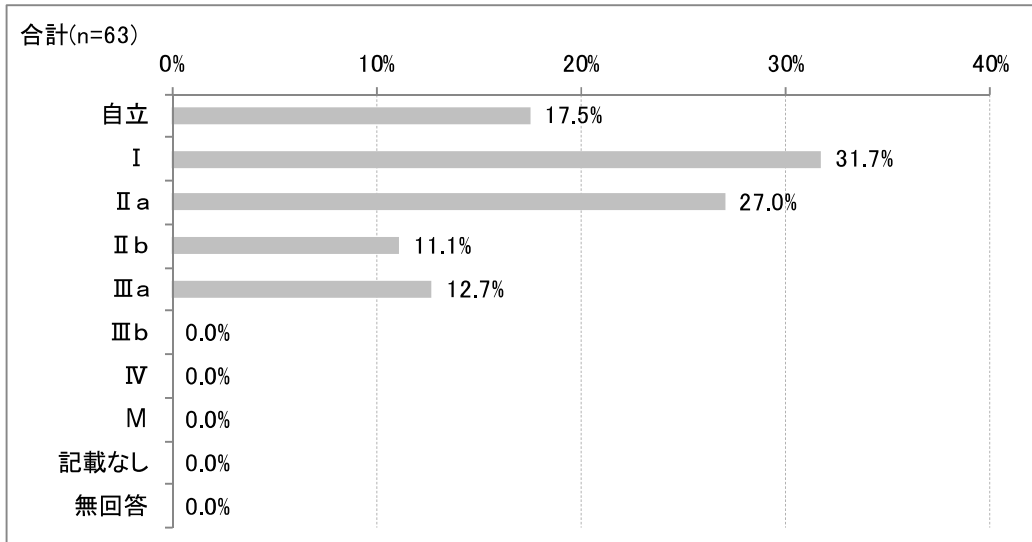
図表 3-8 障害高齢者の日常生活自立度



(9) 認知症高齢者の日常生活自立度

「I」の割合が最も高く31.7%となっている。次いで、「II a (27.0%)」、「自立(17.5%)」となっている。

図表 3-9 認知症高齢者の日常生活自立度



(単純集計版)

在宅介護実態調査の集計結果

～第9期介護保険事業計画の策定に向けて～

発行日 令和5年11月

発行 南砺市 地域包括医療ケア部 地域包括ケア課
〒932-0293
富山県南砺市北川166番地1
電話(0763)23-2034
